

時事問題模擬試験

択一問題

問 4

最近の経済分野の出来事に関する次の記述で、誤っているのはどれか。

- ①内閣府が8月10日に発表した7月の景気ウォッチャー調査（街角景気）では、2～3カ月先の先行き判断指数（D I、季節調整値）が前月比4ポイント低下の48.4と3カ月ぶりの悪化を示した。
- ②内閣府が8月16日に発表した2021年4～6月期の国内総生産（GDP、季節調整値）速報値は、物価変動を除いた実質で前期比0.3%増、年率換算で1.3%増と2四半期ぶりにプラス成長に転じたが、小幅な回復にとどまった。
- ③みずほ銀行では今年に入って8月までに6回のシステム障害が発生。2019年に稼働した新たな中核システムは障害が起きにくい最新鋭とされたが、逆に構造が複雑になり、トラブルの温床になる結果を招いた。
- ④ホンダが8月4日に発表した2021年4～6月期連結決算（国際会計標準）は、売上高が前年同期比72.5%増の7兆9355億円、最終利益は5.7倍の8978億円と、いずれも4～6月期として過去最高だった。

問 6

最近の社会分野の出来事に関する次の記述で、誤っているのはどれか。

- ①第25回全国高校女子硬式野球選手権大会の決勝が8月23日、初めて阪神甲子園球場で開催され、神戸弘陵（兵庫）が4対0で高知中央（高知）を破り、5年ぶり2度目の優勝を飾った。
- ②静岡県熱海市伊豆山地区の土石流災害は、8月3日で発生から1か月となった。この災害では同日までに22人の死亡が確認される一方、5人が今も行方不明となっている。
- ③総務省が発表した今年1月1日現在の日本の人口で、日本人は1億2384万2701人で、前年に比べて42万8617人（0.34%）増加した。
- ④厚生労働省が8月13日に公表した都道府県ごとに決める2021年度の地域別最低賃金の改定額は、人口を加味した全国平均額は28円増の時給930円だった。

時事問題模擬試験

短答式問題

◆短答式問題の問1～問14は今月号に掲載された記事を中心とした問題です。文中〔 〕内に適当な語句・数字を入れる問題と〔 〕内から正しいものを選ぶ問題で構成されています。解答末尾の頁は、関係する記事が掲載されている箇所を示します。

問1 全国大学生協連が新型コロナウイルス禍の生活について全国の大学生に尋ねたアンケート結果によると、「学生生活が充実していない」との回答は「あまりしていない」も含め①〔ア. 35.8% イ. 44.7%〕に上り、20年秋の調査から約②〔ア. 20 イ. 30〕ポイント増加した。

問3 中央省庁の〔 ① 〕は国家公務員試験に合格した官僚から選ばれ、行政組織のトップといわれるが、省庁のトップは〔 ② 〕で、選挙で選ばれた国会議員の中から任命されることが多い。

問5 2021年7月から8月に開催された東京五輪で、柔道の個人戦は金メダル①〔ア. 5 イ. 9〕個を獲得するなどの活躍を見せたが、これには日本の選手層の厚さや自国開催という「地の利」に加え、〔 ② 〕変更が大きかったとみられている。

問11 〔 ① 〕製薬の手代木功社長は8月5日、毎日新聞のインタビューで、開発中の新型コロナウイルス感染症の軽症から中等症患者を想定した②〔ア. 点滴 イ. 飲み薬〕タイプの〔 ③ 〕について、年内に「条件付き早期承認」の申請を目指す考えを明らかにした。

問14 広島・長崎への原爆投下から〔 ① 〕年となった8月6・9日、平和祈念式典が開催され、平和宣言が行われた。8月15日には、政府主催の〔 ② 〕が東京都千代田区の日本武道館で開かれた。